

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日				
平成15年度	事業コード	11310	電話	042-769-8355
担当部課名	保健福祉部	障害福祉	課	
事務事業名	身体障害者作品展			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	▼第1章	安心して生活できる福祉社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第3節	障害者の自立支援と社会参加	7 ▼年度
施策名	第1施策	自立した生活を実現するための環境づくり	

## 2 実施根拠及び関連法令等

--

## 3 事務の区分

自治事務	▼
------	---

## 4 経費の区分

その他の経費	▼
--------	---

## 5 事務事業の分類

市単独事業	▼
-------	---

## 6 受益者負担

あり	▼
----	---

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか		(2)対象(誰、何)	
市内在住の身体障害者が、障害を乗り越えようと日頃努力し作成した作品を展示し、広く市民の理解を図り、障害者福祉の向上の一助とする。		市内在住の身体障害者	
		対象数	11,509人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容			
あじさい会館6階展示室において、市内に在住の身体障害者が作成した絵画、写真、俳句等の作品を3日間展示した。 <展示期日> 平成14年10月18日～20日(3日間) <参加者> 出展者数99名、出展数296点 来場者数281名			
(4)個別計画の概要		概要	
計画名	相模原市障害者福祉計画	障害者を主体とした施策を総合的に推進し、各種サービスを体系的に提供する。実施計画(前期H10～14、中期H15～18、後期H19～22) 障害者による文化活動への支援	
計画年次	10年度～22年度		

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
成果指標	来場者数増減率(%)	本年度来場者数/前年度来場者数(%) H11:181人 H12:196人 H13:221人 H14:281人	来場者数の増減率により、市民への周知状況(理解度)をみる	108	113	127	127	127
活動指標	出展作品数増減率(%)	本年度出展作品数/前年度出展作品数(%) H11:248品 H12:304品 H13:266品 H14:296品	出展作品数の増減率により、作品展の必要性をみる	123	88	111	111	111

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	50	15	1	5	5
決算(予算)額	50	15	1	5	5
人員・時間数	10H	10H	10H	10H	10H
人件費	42	42	42	42	42
その他経費					
合計	92	57	43	47	47
特定財源					
対象数	10,694	11,085	11,509	12,100	12,721
対象の単位あたり経費	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A: 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B: 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C: 達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	年々、来場者が増加しており、市民への理解を深める機会として、十分目標を達成している。
(2)必要性 評価 A ▼	A: 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B: 一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C: 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見、市が事業を行う必要がある 出展作品数、来場者数が共に増加しており、十分ニーズにかなっている。
(3)有効性 評価 A ▼	A: 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B: 一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C: 有効ではない		
		説明	作品展に作品が展示されることは、身体障害者が日頃、作品を作成していくうえでの目標となり、自立支援及び社会参加を促進していくうえで有効といえる。
(4)効率性 評価 A ▼	A: 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B: 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C: 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 作品展を開催するにあたっては、物品のリユースに努めており、経費はほとんど必要としていない。
(5)公平性 評価 A ▼	A: 公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B: 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C: 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	市内在住の身体障害者であれば誰もが参加でき、公平である。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明: 身体障害者作品展の単独開催ではなく、知的障害者、精神障害者等による他の作品展との合同開催の検討 市民文化祭における合同開催の検討	手段	市民文化祭における合同開催の可能性を検討する。
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較
		本市においては、身体障害者だけでなく知的障害者及び精神障害者を対象とした作品展が、別途開催されている。他の自治体においても様々な形で障害者の作品展が開催されている。
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	平成15年度から本作品展を市民文化祭における関連事業としての位置付けを行い、市民への積極的な周知を図っている。今後、出展者による自主開催の促進、同様の事業(他の作品展、市民文化祭等)との合同開催の可能性についても検討する。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

他事業との合同開催を含め見直しを検討すること
------------------------